

この野菜、どこで栽培されているか知っていますか？ —— “マルシェ”でCO₂ネットゼロにつながる選択をしよう

マルシェ*に行ったことはありますか？マルシェでは、農産物や加工品だけでなく花・雑貨・衣料品などを幅広い生産者が直接販売しています。マルシェの特徴のひとつである「**地産地消**」は、地元で採れたり生産されたりしたものをその地域で消費するため、栄養価が高く新鮮な状態で食べられたり、お店まで運ぶためのエネルギーが少なく済んだりします。このように、マルシェは楽しく買い物をする場としてだけでなく、**CO₂排出量を抑える**地産地消につながるものとして、盛んに取り組まれています。*：フランス語で「市場」を表す“marché”に由来

つぎの週末は マルシェでお買い物をしよう

地元の商品を購入できる



マルシェ最大の利点は、**地元で生産・加工された商品を購入できること**。隠れた地元の名品にも出会えるチャンス！一般にマルシェなどの生産者直売所で並ぶ品は、新鮮である上に

流通のプロセスを経ずに販売されるため比較的low価格であることが多いです。気に入ったものを一つ購入することも立派な地産地消への貢献です！



マルシェでやってみよう！ ネットゼロアクション

- 👍 **地元の商品**を買ってみよう
- 👍 生産者に話を聞いて、**より環境に配慮した商品**を選んでみよう
- 👍 必要なものを、**必要な分だけ**購入しよう

👍 **マイ容器・タッパー**を持参しよう

量り売り商品の持ち帰りや食事の際には、自分が好きなお皿や容器で。使い捨て容器より、**なんだか美味しく**見えて気分が上がりませんか？



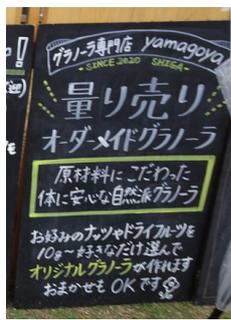
👍 **エコバッグ**を持参しよう

レジ袋有料化を機に持ち歩く人も増えました。レジ袋に使用されるプラスチックの削減によって、CO₂排出量の削減につながります。“素材”にも注目し、リサイクル素材などで作られたエコバッグを使うと尚良し！



容器も食品も捨てずに済む

日本における食品ロス量は、年間522万トン**。これは、一人あたり毎日おにぎり1個分の食べ物を捨てていることとなります。必要な分だけ購入することで、本来食べられるはずの食品ロスをなくすことができます。また、持参した容器で持ち帰ることで、パッケージに使用されるプラスチックの削減につながります。



**：消費者庁「食品ロス削減ガイドブック」より

生産者の顔が見える

生産者と消費者が顔を合わせられることもマルシェならではの体験です。ブースに並んでいる野菜やコーヒー豆等の商品が、どのように生産され、どのような想いで販売されているのか直接伺うことができます。それぞれ違った話が聞けること間違いなし。互いに顔が見えると、売る方も買う方も安心できますね。

“地球の健康”について考えてみよう

環境配慮に取り組むオーガニックマルシェを開催 ——くさつFarmers'Market

滋賀県内で定期的にマルシェを開催している“くさつFarmers'Market”。近隣都市へのアクセスも良好な草津の地に、北は長浜、南は大津まで県全域から出店者が集まります。販売される商品は、化学肥料および農薬を使用せず、土壌においてCO₂を固定する機能が高まったり、たい肥を利用するなど、循環型農業につながる「有機栽培(オーガニック)」の手法が採られているものが中心です。その他、マルシェで提供されるプラスチック容器等の削減によって、CO₂排出量削減にも貢献しています。

マルシェで売る人・買う人みんなで作る / ゴミを出さない取り組み



そもそも会場にゴミ箱がない!?

自分が出したゴミの量が見える



● 普段何気なく使用している
使い捨て用品に意識を向けよう

● 出店者さんにどれくらいゴミが出ているか実感してほしい

くさつFarmers'Market

— 日常の延長線上にあるような場所

place 草津川跡地公園de愛ひろば(区間5)

date 毎月第2・第4日曜日

time 10:00~13:00

※7~9月▶第2・第4土曜日 17:00~20:00

hp <https://kfm-shiga.net/> くさつFarmers'Market HP→



使い捨て容器は、普段ならそのまま近くのゴミ箱に捨ててしまいがちですが、会場にゴミ箱がないことで、出店者・消費者ともに一旦立ち止まってエコについて考えるきっかけになっています。

初めて来る人も気軽にネットゼロ!!

2R^{*}から始めよう

Reduce & Reuse

※: リデュース・リユース



マイ容器を忘れても大丈夫!



くさつFarmers'Marketでは、空き瓶や使わなくなったコップを煮沸して提供することで、使い捨てされるプラスチック容器の削減を促したり、紙袋を再利用し、来場者が商品の持ち帰りに使用できるようにすることで、CO₂排出量の削減につなげています。【選ぶ(Choose)→使う(Use)→戻す(Return)】を繰り返すことで、ゴミを出さない工夫をしています。

Profile

くさつFarmers'Market 発起人
内田 修次(うちだ・しゅうじ)さん



大学時代にニュージーランドに留学。現地で毎週末開催されていたファーマーズマーケットでは、“買い物”という日常的な行為を通じて街の人と生産者が交流し、コミュニケーションが生まれていた。日本でもこのような温かい場が広がってほしいという想いから、大学在学中に「くさつFarmers'Market」を立ち上げる。2023年4月で4周年を迎えた。

留学先の経験と友人の病気がきっかけで、人の健康について考えたとき、人が生きる環境である「地球」が健康でなければ成り立たないのではないかと思ったんです。そういう意味で、化学肥料や農薬を使わないオーガニック製品は、人の健康と同時に「地球の健康」を守ることに繋がると思います。オーガニック製品の“高い”といったイメージを払拭し、日本でもっと日常的なものにしたいです。

補助金のお知らせ

令和5年度 スマート・ライフスタイル普及促進事業補助金

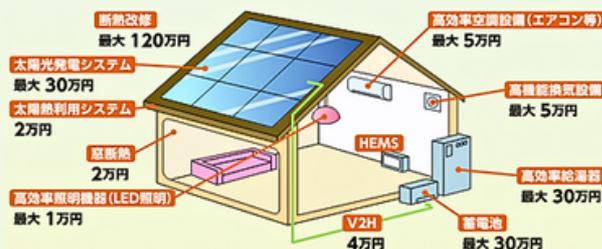
既存住宅の断熱改修・太陽光発電導入・省エネ化を支援します。

6月1日から補助金の申請受付開始!

詳細は、下記HPをご覧ください。

申請先 公益財団法人 淡海環境保全財団
(滋賀県地球温暖化防止活動推進センター)

<https://www.ohmi.or.jp/ondanka/subsidy/r05smart-life/>



賛同はこちらから!



滋賀県では、「2050年までにCO₂排出量を実質ゼロ(=CO₂ネットゼロ)にすることを」目指しています。琵琶湖をはじめとする豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐため、一緒に「しがCO₂ネットゼロムーブメント」の取組を進めていきましょう! 活動に賛同いただける方は、左記QRコードから「CO₂ネットゼロ」に向けて行動することの宣言をお願いします。

発行 滋賀県 総合企画部 CO₂ネットゼロ推進課
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号
TEL: 077-528-3494 FAX: 077-528-4808
E-mail: cg00@pref.shiga.lg.jp
編集 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター